

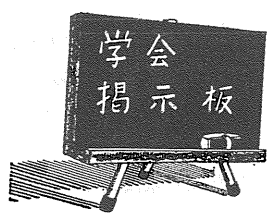
ベットがアーベット系を形成することは 原則的には考えられない。しかし ある地層群について認められるいわゆる 堆積盆地 と その中の火砕質鍵層の 堆積区 とは別であり 前者を越えた堆積区を持つ火砕質鍵層がある場合には 堆積盆地を異にする地層群同志の層位学的関係を 部分的にはあるが 直接的に確認することに注意しなければならない。

5.2.8. 侵食面を含むアーベットと層序の連続観

一連の層序関係を有し 上縁および下縁の火砕質鍵層を認定できる場合については 両者の間のいかなる部分に侵食面が存在しても これをアーベットとして認識し

得る。たとえば 東京都日野市南平(旧南多摩郡七生村)では $\frac{H_1}{H_2}$ アーベット中に顕著な侵食面が存在する。ところが 横浜市保土ヶ谷区においては この $\frac{H_1}{H_2}$ アーベット中に侵食面は認められない。このような侵食面をもって岩石層位学単元(累層あるいは層群)の境界とすること自体は誤りではないが その層位学的評価はその上縁および下縁となす火砕質鍵層の追跡が行なわれて はじめて可能になったといえる。また このようなことから 伊田は「地層の堆積上に正の堆積と負の堆積とを認めることによって 地層の相互関係を 連続観をもって読みとることも可能となろう」としている。

(筆者は 燃料部)



・日本地球化学会

1. 昭和46年10月15日(金)~17日(日)
2. 1971年地球化学討論会
3. 日本都市センター (東京都千代田区平河町)
4. 日本地球化学会・日本化学会 共催

5. 東京都杉並区高円寺北4-35-8
気象研究所地球化学研究部内 日本地球化学会事務局
☎(03) 337-1111 (内線75)

・日本地質学会

1. 昭和46年10月22日(金)
2. 日本地質学会第78年総会
3. 九州大学(☎812 福岡市箱崎町)
4. 日本地質学会
5. 日本地質学会事務局 東京都文京区 東京大学理学部地学教室内 ☎(03) 814-0549

・地学関係5学会連合学術大会

1. 昭和46年10月22日(金)~24日(日) 25日見学旅行
2. 日本地質学会・日本鉱物学会・日本鉱山地質学会・日本岩石鉱物鉱床学会・日本古生物学会連合学術大会
3. 九州大学(おもに工学部 一部理学部)(福岡市箱崎町)
4. 日本地質学会・日本鉱物学会・日本鉱山地質学会・日本岩石鉱物鉱床学会・日本古生物学会
5. 地学関係5学会連合九州学術大会準備委員会 (☎812 福岡市箱崎町 九州大学理学部地質学教室内) ☎(092) 64-1101 内線4138 4197

・日本地理学会

1. 昭和46年10月2日(土) 3日(日)
2. 日本地理学会1971年度秋季学術大会
3. 鹿児島大学(☎890 鹿児島市鳴池町)
4. 日本地理学会
5. お茶の水大学文教育学部地理学教室 浅井教授
東京都文京区大塚2-1 ☎(03) 943-3151 内線262

・日本海洋学会

1. 昭和46年10月4日(月)~7日(木)
2. 日本海洋学会秋季大会
3. 北海道大学水産学部(北海道函館市港町3-1-3)
4. 日本海洋学会
5. 日本海洋学会事務局 東京都中野区栄町通1-28
東京大学海洋研究所内 ☎(03) 376-1251

・地震学会

1. 昭和46年10月11日(月)~13日(水)
2. 地震学会 秋季大会
3. 高知大学(高知市朝倉町)
4. 地震学会
5. 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学地震研究所内
地震学会 ☎(03) 813-7421

・日本化学会

1. 昭和46年10月11日(月)~14日(木)
2. 日本化学会第25年会・化学学協連研究発表会
3. 東京大学教養学部(東京都目黒区駒場)
4. 日本化学会
5. 東京都千代田区神田駿河台1-5
社団法人 日本化学会内連合大会登録係 ☎(03) 292-6161

[注] 1. 開催年月 2. 会合名 3. 会場 4. 主催者
5. 連絡先(掲載順位は原稿到着順)